

別にあっていいではないか

キリストは、昔、悪い大男のみに石を投げつけ  
そいつを殺し、ユダヤの王となったダビデの子孫である。  
死後、三日後によりみがえった。  
死者をよみがえらせた。

キリストご自身が神と言った。

それがキリストが神の子である根本的な理由だと、おっしゃった。  
そうか、キリストはユダヤの王となったダビデの子孫なんだ。  
大男をやっつける勇敢な若者ダビデの姿を僕は想像した。

平間神父さんの話は、人の言い伝え、  
聖書により伝えられた事柄であった。

今から二千年前、それも科学的知識や、  
物事を正しく理論的に解釈する事の少ない、  
世界がまだ神秘的なもののように思われ、  
人の理解出来ないことは、すべて神のみわざ等と  
純粋な気持ちで、人々が信じて疑わなかった時代だ。

聖書が、いかにキリストの行動を、忠実に、  
記しているか、それ等のキリストの事について、  
いろいろと記した聖書は、すべて、  
人間である著者の主観が入ったもの。  
理論的に物事を解釈する訓練がまだできていない、  
科学的知識に乏しい、未熟な人間が、純粋に、  
自分の見たままに書いた事である。  
自分の目から見た事柄は、  
忠実に書いていても、